

日本生体医工学会平成 25 年度第 1 回理事会 議事録

日時：平成 25 年 6 月 7 日（金） 14:00-17:20

会場：AP 東京八重洲通り O ルーム

出席

理事 長	副理 事長	理事										監事		新理事 候補		新監事 候補										
千田 彰一	佐久間 一郎	佐藤 正明	石原 謙	伊関 洋	大城 理	木村 裕一	楠岡 英雄	篠原 一彦	嶋津 秀昭	杉町 勝	田村 俊世	野村 泰伸	牧川 方昭	松田 哲也	山森 伸二	山家 智之	吉田 正樹	堀 正二	山口 隆美	増山 理	砂川 賢二	大須賀 美恵子	椎名 毅	中沢 一雄	松村 泰志	阿部 裕輔
○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○

幹事	支部長										
西條 芳文	南部 雅幸	清水 孝一	山口 昌樹	牧野 秀夫	福井 康裕	平井 真理	村瀬 一之	木内 陽介	村山 伸樹		
×	○	○	×	×	×	×	×	○	×		

配付資料

- 25-1-2 平成 25 年度第 1 回理事会議事録
- 25-1-3 平成 25 年度第 1 回理事会入退会状況の件
- 25-1-4 選奨各賞受賞者決定報告
- 25-1-5 2013 年度第 1 回生体医工学科連絡委員会報告
- 25-1-6 第 10 回生体医工学サマースクールの準備状況について
- 25-1-7 専門別研究会について
- 25-1-8-① 平成 24 年度収支決算について
- 25-1-8-② 平成 25 年度収支予算案について
- 25-1-9 利益相反の管理に関する件について
- 25-1-10-① 編集状況
- 25-1-10-② COI 開示に関する規定・関連資料の改訂ならびに掲載料の改訂に

ついて

- 25-1-10-③ 今後の改定周知作業について
- 25-1-11 IEEE-EMBS2013、第52回大会準備状況報告
- 25-1-12 第53回大会準備状況
- 25-1-13 第54回大会準備状況
- その他-① 平成25年度理事会日程について
- その他-② 持ち回り審議について
 - ・臨床ME専門認定士（更新・新規）の承認について
- その他-③ 協賛等の状況（資料回覧）
- その他-④ IFMBE 関連の報告について

理事会成立の確認

大城理事より理事会成立を確認し、開会を宣言

1. 新理事の自己紹介

新理事により自己紹介

2. 前回議事録承認の件 大城理事

前回議事録 25-1-2 の内容を確認し承認

3. 入退会状況について 大城理事

25-1-3

入退会状況に関する資料を回覧

退会 67名の理由 → 会費長期滞納者の整理による

幽霊会員になっている」会員をどのように扱うか（阿部監事）

昨年代議員に選出された会員の中から3年以上の未払い者に対して意思確認し、支払いの意思がない場合は退会を薦めた。

4. 選奨の報告（佐久間理事）

25-1-4

論文賞（山家理事）、研究奨励賞・坂本研究刊行助成賞・阿部賞（吉田理事）、新技術開発賞（石原理事）、荻野賞（野村理事）の受賞者について報告があった。

新技術開発賞の第二席と、荻野賞の受賞者が重複している件について

新技術開発賞選定委員長の石原理事より、重複受賞について、外部から評価を受けた場合、重複受賞者に対し批判的意見を受けることは問題であり、新技術開発賞は対象外とすべきではないかと考える。

荻野賞選定委員の野村委員長から、従来2件あったが1件でもやむなしとのこと、次

点の候補者が実用化前にかつ他の賞をいくつか受賞しているとのことであった。
新技術開発賞，荻野賞それぞれ1件ずつとすることで承認された。

荻野賞の受賞タイトルが長いので

「術中情報直感操作型インターフェースシステムの開発と臨床応用」に変更するように推奨する。

今年度の研究奨励賞他の発表について，発表はどうか？

今年度の発表も対象にするようにしている。

詳細については牧川大会長，田村プログラム委員長で詰める。

5. 生体医工学科連絡委員会報告（吉田理事）

25-1-5

出版物について

コロナ社 新コロナシリーズの一冊として出版を行うこととなった。

先端医療を支える工学－生体医工学への誘い－

日本生体医工学会編としての承認を得たい→承認された。

石原理事より発言

医学生・研修医・医学部教育担当者のための教材 WG

目的：MD の ME 機器を活用するための動機付け

形式：ME 機器の進歩に追いつくため，最低でも4年に一回の見直しを行う。

パワーポイント，PDF，ムービー，シミュレーションプログラム他

著作権： 生体医工学会編とし，個々の内容については作成者自身に帰属するものとする。

教材作成：プロによる撮影と編集を行うことを前提とする。

2013.9-2014.4 および 2014.5-2015.4 に撮影と編集を予定している。

予算： 2年で370万円程度，4,5年毎に半額の予算で改訂を予定。

技術教育委員会（嶋津理事）より，看護師担当に同様のコンテンツを作成しようと考えている。MD は MD の事情もあろうことより，MD 主導のコンテンツを作成していただきサポートするという立場で参加した方が良いかと思う。ただし，予算に関しては技術教育委員会でサポート可能である。

独立した WG を立ち上げることを承認する

6. 第10回生体医工学サマースクールの準備状況について（事務局武田）

25-1-6

実行委員長 防衛医科大学 石原美弥

2013年8月6日~8日

実施場所 新狭山ホテル

会費： 学生15000円，一般20000円

定員20名

学会ホームページで広報を行う。

7. 専門別研究会について (田村理事)

25-1-7

5研究会が解散

ほとんどの研究会について再申請が必要となる。

会長の交代が必要な研究会がある。

会計については適正に執行されていた。

未来のバイオメディカルデザイン研究会が書類未提出

再度督促の上，未提出であれば今年度の予算を分配しない。

その他の研究会については仮払いを認める

8. 平成24年度収支決算について (事務局 武田)

25-1-8-①

3年後に税務調査が入る可能性があり，できればそれまでに公益法人化するべきであると思われる。そのためには試験事業も公益事業とし，収支のバランスをとるべきであろう (阿部監事)。

平成27年4月1日を目途に公益法人化することを目標とする。

公益法人化にあたり，公益法人としての立場を確認すると，学術団体はすべからく公益事業を行なっているという総務省の見解である。

公益法人化を目指し，WGを立ち上げることとする。

9. 平成25年度予算案について

25-1-8-②

公益法人化に向けて26年度は決算を0もしくは若干の赤字決算として欲しい (これまでは赤字予算で，黒字決算)。

11. 利益相反の管理に関する件について (石原理事)

25-1-9

1 2. 編集状況について (木村理事)

2 5 - 1 - 1 0 - ①

生体医工学誌： 去年通り，

ABE 誌： 5 8 編投稿， 現在 2 1 本採択

JSTAGE へのアップロードも開始

1 3. 投稿規定の改訂について (木村理事)

COI 開示に関する規定， 掲載料の改訂について

2 5 - 1 - 1 0 - ②

掲載料の改訂について

和文誌掲載料 2 0 0 0 0 円として

英文誌 ① 0 円， ② 5 0 0 0 円， ③ 1 5 0 0 0 円 の 3 案

編集委員会としては， ABE は重要な事業であるため①案としたい。

英文誌は無料とする案を採用することが承認された。

2 5 - 1 - 1 0 - ③

日本生体医工学会における利益相反開示ポリシー (案) について

実際に利益相反で問題になった事例はないと思われる (石原理事)

厚生労働省の指針についてを引用するのは問題があるとする (石原理事)

その他の問題を含め， 石原理事が詳しいので改訂案を提案していただけないか

→ 牧川理事， 木村理事と連携しつつ改訂案を作成する。

英文の規定も改定し， 日付を次回の理事会に送る。

1 4. 第 5 2 回大会 + EMBC2013 準備報告

2 5 - 1 - 1 1

口頭発表 1 1 7 8 編

ポスター 1 2 9 6 編

合計 2 4 7 4 編を予定

7 月 3 日

生体医工学会総会 1 7 : 3 0 - 1 8 : 3 0

編集委員会 1 1 : 3 0 - 1 3 : 0 0

専門別研究会 1 4 : 0 0 - 1 6 : 0 0

IFMBE AP WG

NEDO セッション 13:00-17:00

その他 臨床工学セッションを予定

昼食については Luncheon Seminar を予定 2000 食を用意

15. 第53, 54回 大会準備状況について

25-1-12, 13

第53回 2014年6月24日(火)~26日(木)

会場 仙台国際センター

大会長 松木英敏(東北大学大学院医工学研究科医工学専攻)

第54回は未定

16. 本年度理事会の日程について

25-1-14-①

第二回 7月26日(金)

第三回 10月25日(金)

第四回 1月17日(金)

第五回 3月14日(金)

いずれも AP 東京八重洲通り

17. 臨床 ME 専門認定士

25-1-14-②

承認された。

18. 他団体との共催・後援・協賛状況

25-1-14-③

後援 6件, 協賛 23件

19. IFMBE Council of Societies Charter について(佐久間理事)

25-1-14-④

IFMBE の組織改革が行われる

今後 AP で持ち回りで代表を出すような組織づくりが必要であると思われる。

佐久間理事を中心にネゴシエーションすることをお願いしたい。

20. 支部主催の行事について

関東支部の発表会について

宇都宮工業高校の発表が受賞した

作新学院からクレームがあった。

生体医工学学会としては選奨には問題がなかったと回答する。

21. 総会資料について

6月14日までに修正点を事務局まで。